

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月26日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 家族亭

コード番号 9931 URL <http://www.kazokutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 乾 光宏

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 後藤秀明

TEL 06-6227-6030

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	12,152	—	366	—	367	—	100	—
23年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 98百万円 (—%) 23年12月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	14.27	—
23年12月期第3四半期	—	—

(注) 平成23年12月期より連結財務諸表を作成しているため、平成23年12月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	11,039	3,630	32.8	516.31
23年12月期	10,979	3,591	32.7	510.82

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 3,623百万円 23年12月期 3,591百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は決算期の変更に伴い、当期は15ヶ月の変則決算になっております。連結業績予想の数値は後述の平成25年3月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成25年3月31日)を参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	7,056,200 株	23年12月期	7,056,200 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	25,355 株	23年12月期	25,323 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	7,030,863 株	23年12月期3Q	7,030,897 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

平成 25 年 3 月期の連結業績予想（平成 24 年 1 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		当 期 純 利 益		1 株 当 たり 当 期 純 利 益 円 銭
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第 4 四 半 期 (累 計)	15,800	—	530	—	550	—	280	—	39.82
通 期	19,500	—	550	—	570	—	290	—	41.25

(注)平成 23 年 12 月期より連結財務諸表を作成しているため、平成 25 年 3 月期第 4 四半期(累計)の対前年同四半期増減率については記載しておりません。また、決算期の変更により、当期は 15 ヶ月の変則決算になっておりますので通期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、当初は公共投資と個人消費の牽引により、緩やかな持ち直しがみられましたが、海外経済の減速感の強まりを受けての生産減少と企業の設備投資に対する根強い慎重姿勢の継続、加えて、天候不順などの影響で個人消費も弱含んでおり、景気は下振れています。

外食産業においても、震災からの反動もありましたが、不安定な天候、消費税増税の動きなどによる消費ムードの後退などもあり、一進一退という状況です。売上高は、店舗数増加に伴う利用客数の増加により、前年を若干上回る状況にありますが、客単価が前年を下回る状況が続いております。

当社の当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高12,152百万円、営業利益366百万円、経常利益367百万円となりました。店舗リニューアルに伴う固定資産廃棄損等による特別損失61百万円、法人税等を計上した結果、四半期純利益は100百万円となりました。

各セグメントの概況は以下の通りです。

① 外食事業

外食事業を営む㈱家族亭の当第3四半期累計期間の業績は、売上高6,275百万円、営業利益84百万円となりました。

主な取り組みとして、1月に新業態「田舎つけそば のぶや」を霞が関コモンゲートに出店いたしました。お昼のつけそばに加えて、6月からは夜の「ちょい飲み」に対応したメニューも取り入れ、客数増加を図りました。さらに8月には生ビール280円、おつまみも100円代、200円代を中心に50品目以上取り揃えるなど、価格に加え品揃えにおいても充実し、昼は「田舎つけそば」、夜は「座って飲める立ち飲み屋」へと一新した結果、9月には1日平均売上高が、開店から5月までの期間平均に比べ、約1.4倍に躍進いたしました。今後、新業態「のぶや」を成長の新機軸として完成度を高め、出店拡大に注力してまいります。また、本年、家族亭は創業65周年を迎えることができました。創業から現在まで家族亭を支えてくださいましたお客様への感謝の意を込めて、特別メニューの提供や記念イベントなど第3弾まで開催、第4弾を開催予定です。

海外においては、6月初旬に、当社の海外子会社が、ジャパニーズ スイーツ&スナックショップ「Harajuku Delights」をインド・ニューデリーに初出店いたしました。タイ・バンコクでは、日本を代表する料理(炭火焼、鉄板焼き、天ぷら、寿司など)を4種類のステージに集結し、お客様が調理パフォーマンスを見ながら食事を楽しんでいただくショーキッチンスタイルを取り入れた「旬の舞」の2号店のFC出店と、しゃぶしゃぶを中心とした日本料理店「かごの屋」の2号店をFC出店いたしました。そのほかにも「家族亭」6店(タイ2店、中国4店)をFC出店いたしました。

営業網の整備においては、直営店舗として新規出店5店(FC(フランチャイズチェーン)からの移行を含む)、閉店8店(FC化に伴う閉店を含む)により104店となりました。また、FC店舗は新規出店10店(直営店舗からの移行を含む)、閉店8店(直営化に伴う閉店を含む)により102店となりました。海外店舗は出店9店と閉店2店により22店となり、提携店舗は出店1店と閉店1店により5店となりました。

この結果、当第3四半期末の店舗数は、直営店舗104店、FC店舗124店(海外22店含む)、提携店舗5店の合計233店となりました。

② 製造事業

製造事業の当第3四半期累計期間の業績は、売上高5,880百万円、営業利益282百万円となりました。

2011年10月末に子会社化した中野食品㈱は、企業の活性化を目的に新体制を構築し、若手社員を抜擢した組織に変更いたしました。以降、継続的に取り組んできました原材料・資材等の見直し、調達方法の変更、並びに工場生産ラインの労務管理の手法変更によるコストダウンなど、その効果が着実に発揮され、前年に比べ大幅な増益となりました。

また、本年8月には、製造事業において2社目となる寿製麺㈱を子会社化いたしました。今後、㈱家族亭が関西に保有する2カ所の小規模製麺工場を寿製麺㈱(兵庫県宍粟市)に集約、グループ内の製麺効率の向上に取り組みます。さらに外食事業の魅力度アップのため、外食店舗において提供する、より上質の麺や新種の麺を中野食品㈱が開発、関東地区は中野食品㈱が、関西地区は寿製麺㈱が製造し、外食店舗に供給する体制づくりを推進しております。

当社グループとエイチ・ツー・オー リテイリング グループ各社との相乗効果といたしましては、家族亭において、阪急百貨店及び阪神百貨店の友の会会員様と両百貨店のハウスカードであるペルソナカードの会員様向けのクーポン発行やイベント開催、また、阪急うめだ本店12階レストラン街「祝祭ダイニング」への『うどんの詩』出店など、百貨店顧客の共有に向けた取り組みを推進しております。また、㈱阪急デリカが製造する豆狸いなりの家族亭店舗における販売、㈱阪急クオリティサポートによる製麺工場や国内の外食店舗（F C店舗を含む）の衛生点検・指導など、グループインフラの活用による魅力度アップや食の安全・安心の強化などにも取り組んでいます。調達面においても、共同入札によるコストダウンなど相乗効果の最大化に鋭意推進しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は11,039百万円となり、前連結会計年度末に比べ60百万円増加しました。これは主に、寿製麺株式の取得による同社の子会社化等に伴い、土地が68百万円、のれんが90百万円増加した一方で、減価償却等に伴い、建物及び構築物が90百万円減少したことによるものです。

負債は7,409百万円となり、前連結会計年度末から21百万円増加しました。これは主にエイチ・ツー・オー リテイリング㈱からの短期借入金が増加し、未払法人税等が179百万円増加した一方で、銀行等からの借入金の返済により長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が397百万円減少したことによるものです。

また、純資産は3,630百万円となり、前連結会計年度末から38百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が増加し、少数株主持分が6百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年4月27日に公表いたしました平成25年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,051,145	1,103,097
受取手形及び売掛金	1,555,477	1,576,842
商品及び製品	21,684	43,328
原材料及び貯蔵品	312,150	233,161
繰延税金資産	65,549	68,625
未収入金	133,500	157,887
その他	152,381	125,027
貸倒引当金	△3,377	△2,716
流動資産合計	3,288,513	3,305,254
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,837,475	2,747,121
機械装置及び運搬具（純額）	506,477	498,082
工具、器具及び備品（純額）	94,405	87,307
土地	1,586,354	1,655,154
リース資産（純額）	82,076	72,961
その他	—	3,226
有形固定資産合計	5,106,789	5,063,853
無形固定資産		
のれん	112,128	203,104
リース資産	11,470	4,343
その他	55,590	96,154
無形固定資産合計	179,189	303,602
投資その他の資産		
投資有価証券	89,862	96,294
関係会社出資金	48,762	68,941
長期貸付金	41,922	50,694
繰延税金資産	77,431	81,631
敷金及び保証金	2,093,119	2,012,679
その他	114,584	137,444
貸倒引当金	△60,455	△80,408
投資その他の資産合計	2,405,226	2,367,277
固定資産合計	7,691,205	7,734,733
資産合計	10,979,718	11,039,987

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,370,919	1,298,531
短期借入金	419,025	697,769
1年内返済予定の長期借入金	805,560	727,200
1年内償還予定の社債	35,840	35,840
リース債務	23,420	22,406
賞与引当金	11,907	55,288
未払金	742,002	700,019
未払費用	186,634	227,881
未払法人税等	2,038	181,209
預り金	157,477	120,193
その他	96,105	76,105
流動負債合計	3,850,932	4,142,445
固定負債		
社債	52,880	17,040
長期借入金	2,921,070	2,601,647
リース債務	74,985	58,180
繰延税金負債	—	18,634
再評価に係る繰延税金負債	59,514	59,514
退職給付引当金	169,322	196,134
役員退職慰労引当金	38,859	43,283
長期預り保証金	135,724	154,079
資産除去債務	68,732	83,118
その他	16,211	35,781
固定負債合計	3,537,300	3,267,414
負債合計	7,388,232	7,409,859
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,465,784	1,465,784
資本剰余金	1,425,506	1,425,506
利益剰余金	1,187,072	1,217,120
自己株式	△13,932	△13,954
株主資本合計	4,064,430	4,094,456
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,674	351
土地再評価差額金	△466,371	△466,371
為替換算調整勘定	△4,899	△4,577
その他の包括利益累計額合計	△472,945	△470,597
少数株主持分	—	6,268
純資産合計	3,591,485	3,630,127
負債純資産合計	10,979,718	11,039,987

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	12,152,690
売上原価	9,865,913
売上総利益	2,286,777
販売費及び一般管理費	1,919,863
営業利益	366,913
営業外収益	
受取利息	1,990
受取配当金	1,831
不動産賃貸料	84,635
その他	12,453
営業外収益合計	100,911
営業外費用	
支払利息	38,355
不動産賃貸費用	34,098
持分法による投資損失	8,284
その他	19,231
営業外費用合計	99,969
経常利益	367,855
特別損失	
固定資産廃棄損	22,222
固定資産売却損	551
関係会社投資等損失	19,705
その他	18,677
特別損失合計	61,157
税金等調整前四半期純利益	306,697
法人税、住民税及び事業税	218,955
法人税等調整額	△8,548
法人税等合計	210,407
少数株主損益調整前四半期純利益	96,290
少数株主損失（△）	△4,063
四半期純利益	100,354

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第3四半期連結累計期間 （自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	96,290
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	2,025
為替換算調整勘定	322
その他の包括利益合計	2,347
四半期包括利益	98,638
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	102,702
少数株主に係る四半期包括利益	△4,063

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	外食事業	製造事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,275,994	5,876,695	12,152,690	—	12,152,690
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,036	4,036	△4,036	—
計	6,275,994	5,880,731	12,156,726	△4,036	12,152,690
セグメント利益	84,525	282,387	366,913	—	366,913

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。